

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

I 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習事項から、さらに調べてみたい、さらに知りたいという興味・関心をもって学習に取り組む児童が増えた。
- ・写真やグラフなどの資料や、地図帳や地球儀などの教材・教具を用いて、社会的事象を多面的に捉え、考えていくことができた。
- ・複数の資料を準備し、比較・関連付けを行い、考えを繋げながら読み取ることができた。

(2) 課題

- ・既習事項を基に学習を進めるが、忘れてしまう児童も少なくない。定着が不十分なので、振り返る時間を取り、限られた時間の中で確実な定着を図る。
- ・調べ学習の際、資料の丸写しになってしまうことがある。要点を整理して、全体的な傾向や、社会的事象についての自分の考えをまとめることができるようにする。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った ○…目標値と同程度 △…目標値を下回った

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	◎		
第5学年	◎	△ (第4学年時)	
第6学年	◎	○ (第5学年時)	◎ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図の見方（8方位・地図記号）の定着が十分でない児童がいる。 ・複数の資料を見比べて、変化の特徴を捉えることができていない児童がいる。	・思考・判断・表現の正答率が目標値を上回った。（4年） ・土地利用の工夫など、自分の力で見取って記述することができない児童がいる。	・住んでいる地域だけでなく、大田区全般に対する関心があり、たくさんを知っている。 ・日常生活と学習を関連させた話をしたり、自主学習で調べたりして興味を上げている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識・技能の正答率が、目標値と同程度または下回っているため、基礎的な内	・思考・判断・表現の正答率は、目標値を上回っている。	・興味・関心が高く、意欲的に取り組むことができる。 ・調べ学習では、情報を精選した

容の確実な定着を図る必要がある。 ・実際に体験することのできない社会的事象について定着が十分とは言えない。	・資料やグラフを基に読み取り、自分の考えを表現する力は今後、高めていく必要がある。	り、まとめたりする力を高める必要がある。
--	---	-----------------------------

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・定期的に、地図記号や四方位の問題に取り組ませ引き続き定着を図る。 ・教科書に載っている資料や表だけでなく、生活の中でも積極的に見付けさせる。 ・資料を見る際の視点を示し、資料の見方を身に付けさせる。	・資料から読み取ったことを、自分の考えとしてまとめ、ペアやグループで考えを伝え合い、多様な意見を取り入れさせる。 ・地図の見方の定着が不十分な場合には、資料に方位を示したり、「〇〇が△△に変わった。」など記述しやすい形式にしたりするなど工夫する。	・自分が知っていることや、体験したことから学習問題を作り、自らその問題を調べていくような問題解決学習・単元指導計画を立てる。 ・既習事項の定着だけでなく、自分で探求して新たな課題を見出させるなど、意欲をもって取り組めるようにする。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会的事象の知識の定着のため、地図帳や地球儀、ICT機器を効果的に用いることで、用語や場所など確実におさえる。 ・複数の資料に触れることで、資料を読み取る力を養っていく。	・資料を読み取る際には、細部だけに注目するのではなく、縦軸と横軸が表すものや大きな変化があったところなど、全体の傾向を押さえて読み取ることができるよう、日頃から視点をもち資料を活用できるよう授業に取り入れる。	・主体的に学習に取り組む態度を育てるために、自分が調べたことをグループ、全体と共有する場面を広げ、考えを整理しながら学習していけるようにする。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れ、興味・関心を高められるようにする。